

米国疾病予防管理センター（CDC）は、4月2日金曜日にクルーズ船が米国で運航再開するための待望の運航ガイドラインを発表しました。詳細は[こちら](#)から（英文）

ガイドラインには、「連邦政府、州、地方自治体の財源への負担を可能な限り最小限に抑えるように策定された」重大な移送のハードルがあります。

CDCはクルーズ会社に対し、検疫、医療、移送の観点から、COVID-19新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た場合に自社で対処できることを実証するように求めています。問題点として：CDCはいつクルーズが再開できるのか、または試験航海をいつ開始できるのかについて言及していませんでした。

重要なポイント

- CDCはガイドラインのなかで、すべての港湾関係者とクルーズ参加者（乗船客と乗組員）がCOVID-19ワクチンを接種することを推奨しています。
- クルーズ運航会社は、試験航海または乗船者数を制限されたクルーズで、客船が寄港する予定のすべての米国の港および各地の保健当局の承認を提出する必要があります。
- ガイドラインには、港湾運営に関する件（ワクチン接種を含む）、医療計画に関する件、隔離収容に関する件のいずれもが、要件を満たす必要があります。
- CDCは、クルーズ運航会社が海上や陸上での集団行動において、COVID-19陽性者や感染拡大から乗客と乗組員を最大限に保護するためのワクチン接種に関する取組みについての策定案の提示を要求します。
- CDCは、COVID-19の事由から、医療後送（MEDEVAC：医療行為を行いつつ傷病者を医療機関に搬送する行為）を含む重要な乗船スクリーニング検査と船内プロトコル（作業手順）を要求しています。
プロトコルには、海上では避けられない医療後送のための施設（例として、本船のテンドーボート、チャーターした移送船、チャーターした航空移送手段）に頼らざるを得ず、かかる費用は連邦政府、州、地方自治体ならびにアメリカ合衆国沿岸警備隊を含む財源への負担を可能な限り最小限に抑えるように策定されなければなりません。海上でのすべての医療後送は、アメリカ合衆国沿岸警備隊との連携をとる必要があります。
- ガイドラインでは、船内で感染拡大が発生した場合の、重要な下船プロトコル（作業手順）の策定を要求しています。
- 試験航海または乗船者数を制限されたクルーズの運航では、クルーズ運航会社と客船が寄港する予定のすべての米国の港および各地の保健当局との間で以下の内容が盛り込まれた合意がなされなければなりません。

乗客または乗組員に対し、治療の上で陸上医療機関への搬送が必要とされる場合、クルーズ運航会社と医療機関との間の医療協定を組み入れたCDCの運航ガイドラインと命令に従わなくてはなりません。

- クルーズ運航会社は、COVID-19 の船内での感染拡大を抑えるための潜在的な医療ニーズに対し、各地の公衆衛生局、港湾当局、医療機関およびその他の緊急事態対応要員の受入れ能力を考慮する必要があります。また、クルーズ運航会社はクルーズごとに乗船者数を決定する際に、運航ルート沿いの医療機関または医療に関わる組織すべての関係者に、治療の受入れ要請があり得ることを説明する必要があります。
- 隔離収容中および検疫下に客船がどこに停泊しているか（着岸なのか投錨なのか）を考慮する必要があることも、合意しなければなりません。合意した関係機関、各地の公衆衛生局、港湾当局、医療機関およびその他の緊急事態対応要員を含み、隔離収容中および検疫下にある乗船者の陸上医療機関への収容の必要性を共同で監視および検討する必要があります。クルーズ運航会社は企業契約または企業所有の収容施設の能力を判断する際に、関わる組織すべての関係者に説明の上、合意する必要があります。
- 陸上医療機関への収容は、CDC のガイドラインに適合している必要があります。

引用元：クルーズ・インダストリー・ニュース（英語サイト）

原文をご覧になりたい方は [こちら](#)